

自立活動指導事例集

★ 事例集の特長 ★

- 1** 都内 10 校の研究協力校から提供された自立活動指導事例から、**児童・生徒の的確な実態把握に基づいた 10 例**を紹介しています。
- 2** 自立活動を担当する教員が、児童・生徒一人一人の学習上又は生活上の困難を改善・克服するための自立活動の指導に役立てられるよう、児童・生徒の実態把握に用いた**チェックリスト**により自動的に作成された**レーダーチャート**を記載しました。
- 3** 児童・生徒の指導目標に応じた自立活動を充実させるために、**指導の形態や自立活動の 6 区分 27 項目に即した指導内容**について記載しました。目次や索引を参考に、御自身の指導の改善に御活用ください。
目次に記載されている単元名などや索引の事例番号から、**興味のあるページに移動**することができます。
- 4** 児童・生徒の学習上又は生活上の困難さが改善・克服できるよう、指導事例では、**コンテンツ（指導の内容・題材）**だけでなく、児童・生徒の実態に応じた**プロセス（学習の方法や手順）**を【Point!】として明確に記載しました。
- 5** 通常の学級での合理的配慮等を記載し、担当教員と在籍学級担任との**連携**が図れるよう工夫しました。

目 次

■ 小学校

事例番号	指導形態	●児童・生徒の困難さ／○単元・題材のねらい／◎学年及び単元名・題材名	ページ
1	小集団	● 思いどおりにならないとパニックになってしまう ○ 短時間で気持ちを切り替えるための手段を身に付けよう ◎ <u>第1学年「協力ボーリング」</u>	<u>4</u>
2	小集団	● 周りの状況を正しく理解できない ○ 状況を正しく理解して、友達とかかわろう ◎ <u>第2学年「ちぎレース」</u>	<u>7</u>
3	小集団	● 不注意からのミスにより自己肯定感が低くなってしまっている ○ 活動を通して成就感を味わい、自己を肯定的に捉えよう ◎ <u>第2学年「相談と活動」</u>	<u>9</u>
4	個別	● 文字の読み書きが困難で学習に集中できない ○ 自分に合った読み方を習熟するまで練習しよう ◎ <u>第2学年「読みの練習」</u>	<u>11</u>
5	小集団	● 思いどおりにならないとパニックになってしまう ○ 得意なことを生かして課題をやり遂げ、自分のよさに気付こう ◎ <u>第5学年「謎の遺跡からの脱出」</u>	<u>13</u>

■ 中学校

6	個別	● 文字の読み書きが困難で学習意欲を失っている ○ 自己の特性に応じた方法で学習に取り組もう ◎ <u>第2学年「自分に合った方法で読もう」</u>	<u>16</u>
7	個別	● 人に伝えようとする意欲が低くて困ったときに援助要請ができない ○ 望ましい方法で意思や要求を伝えよう ◎ <u>第3学年「コミュニケーションスキルを高めよう」</u>	<u>18</u>

■ 高等学校

8	個別	● 一斉指導で指示を理解できない ○ 自分の得意なことや不得意なことを知り、改善方法を考えよう ◎ <u>第1学年「自己理解」</u>	<u>20</u>
9	個別	● 自分の思いや考えを伝えられない ○ 適切に自分の気持ちや考えを伝えよう ◎ <u>第2学年「自己理解・自己受容プログラム」</u>	<u>22</u>
10	個別	● 衝動的な行動をしてしまう ○ お互いの意図を理解し合い、適切なかかわりができるようになろう ◎ <u>第3学年「お互いにお話をしよう」</u>	<u>24</u>

索引

<特別支援学校学習指導要領 自立活動の内容 6 区分 27 項目による分類>

1 健康の保持

- (1) 生活のリズムや生活習慣の形成に関すること。
- (2) 病気の状態の理解と生活管理に関すること。
- (3) 身体各部の状態の理解と養護に関すること。
- (4) 障害の特性の理解と生活環境の調整に関すること。 [中学校—6 \(16 ページ\)](#)
- (5) 健康状態の維持・改善に関すること。

2 心理的な安定

- (1) 情緒の安定に関すること。
. [小学校—1 \(4 ページ\)](#)、[小学校—2 \(7 ページ\)](#)、[小学校—4 \(11 ページ\)](#)、[小学校—5 \(13 ページ\)](#)
- (2) 状況の理解と変化への対応に関すること。 [小学校—2 \(7 ページ\)](#)
- (3) 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること。
. [小学校—4 \(11 ページ\)](#)、[小学校—5 \(13 ページ\)](#)、[中学校—6 \(16 ページ\)](#)

3 人間関係の形成

- (1) 他者とのかかわりの基礎に関すること。
. [小学校—5 \(13 ページ\)](#)、[中学校—7 \(18 ページ\)](#)、[高等学校—8 \(20 ページ\)](#)
- (2) 他者の意図や感情の理解に関すること。 [小学校—2 \(7 ページ\)](#)、[高等学校—9 \(22 ページ\)](#)
- (3) 自己の理解と行動の調整に関すること。 [小学校—3 \(9 ページ\)](#)、[高等学校—10 \(24 ページ\)](#)
- (4) 集団への参加の基礎に関すること。 [小学校—4 \(11 ページ\)](#)

4 環境の把握

- (1) 保有する感覚の活用に関すること。
- (2) 感覚や認知の特性についての理解と対応に関すること。
. [小学校—1 \(4 ページ\)](#)、[小学校—3 \(9 ページ\)](#)、[小学校—4 \(11 ページ\)](#)
- (3) 感覚の補助及び代行手段の活用に関すること。 [中学校—6 \(16 ページ\)](#)
- (4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関すること。
- (5) 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること。 [小学校—4 \(11 ページ\)](#)

5 身体の動き

- (1) 姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること。
- (2) 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関すること。
- (3) 日常生活に必要な基本動作に関すること。
- (4) 身体の移動能力に関すること。
- (5) 作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること。

6 コミュニケーション

- (1) コミュニケーションの基礎的能力に関すること。
. [中学校—7 \(18 ページ\)](#)、[高等学校—8 \(20 ページ\)](#)、[高等学校—9 \(22 ページ\)](#)、[高等学校—10 \(24 ページ\)](#)
- (2) 言語の受容と表出に関すること。 [高等学校—9 \(22 ページ\)](#)
- (3) 言語の形成と活用に関すること。 [小学校—4 \(11 ページ\)](#)
- (4) コミュニケーション手段の選択と活用に関すること。
- (5) 状況に応じたコミュニケーションに関すること。 [小学校—5 \(13 ページ\)](#)

1 単元名・題材名
「協力ボーリング」

2 対象児童・生徒

(1) 学校種・学年

小学校・第1学年

(2) 学習上又は生活上の困難

(表出している課題)

- ・見通しのもてない場面で、思い通りにならないとパニックになってしまうことがある。
- ・気持ちの切り替えに時間がかかる。

(3) (2)の背景となる原因

(自立活動の6区分27項目による視点)

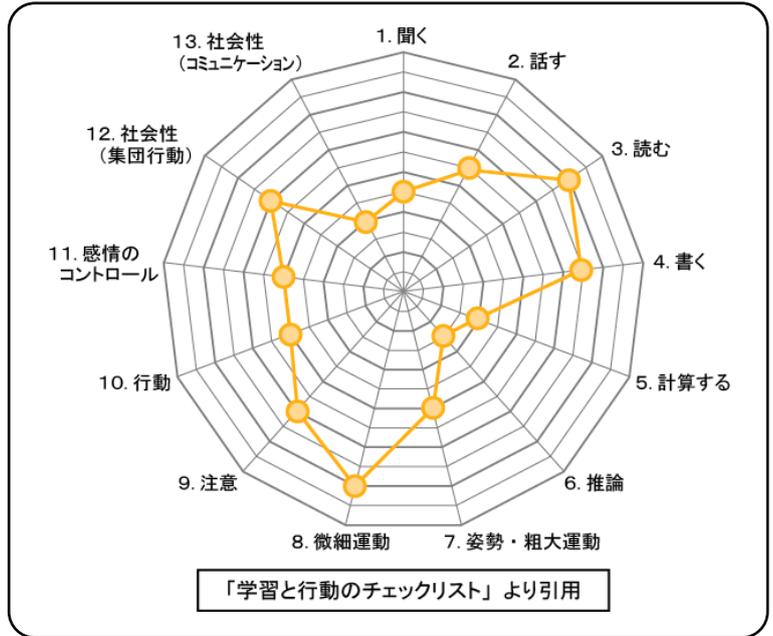
- ・区分 2 心理的な安定 項目 (1) 情緒の安定に関すること。
- ・区分 4 環境の把握 項目 (2) 感覚や認知の特性についての理解と対応に関すること。

(4) 長期目標

- ・思い通りにならなかったときに、自分の気持ちを言葉で伝えることができる。
- ・状況を理解し、気持ちをコントロールすることができる。

(5) 短期目標 (本単元での指導に関わる短期目標のみ記載)

- ・見通しをもつことで、気持ちを短時間で切り替えることができる。



3 単元・題材及び指導計画等

(1) 単元名・題材名 「協力ボーリング」

(2) 単元目標 (重点目標)

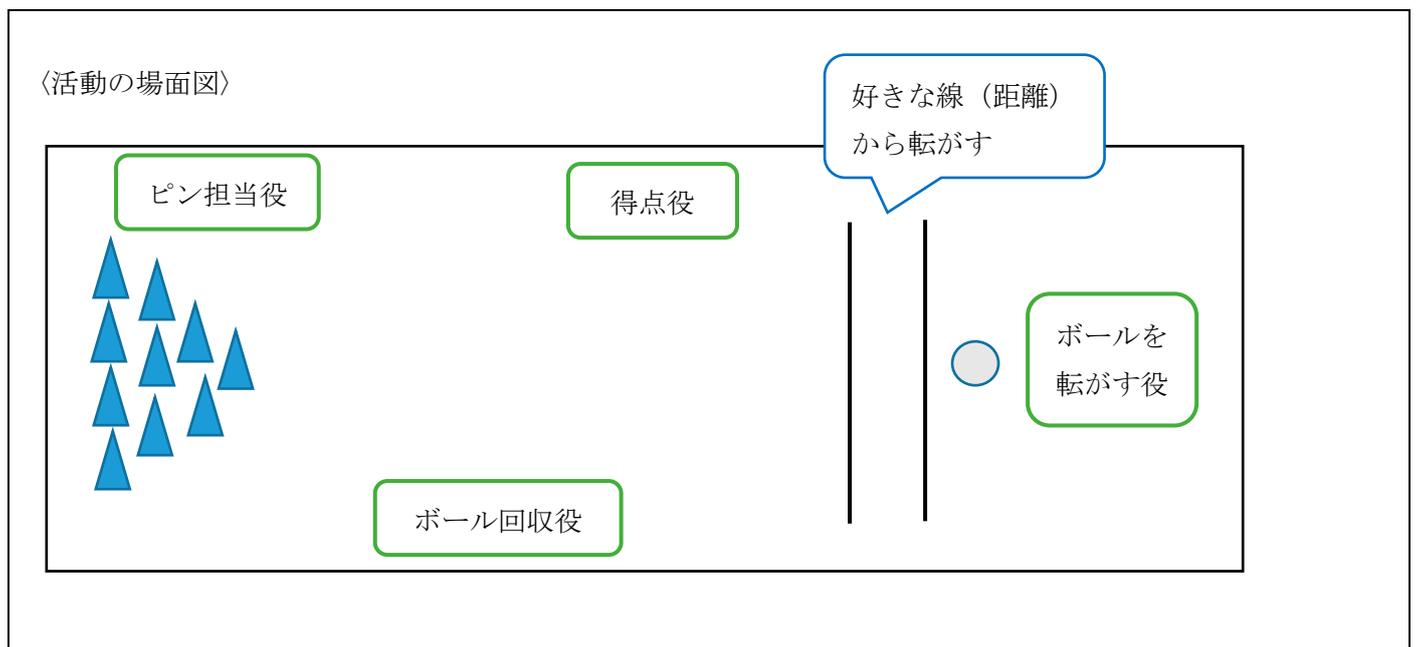
- ・自分の役割を理解して活動することができる。
- ・ピンをうまく倒すことができなくても、短時間で切り替えて、次の活動に移ることができる。

(3) 単元の指導計画・評価計画 (全2時)

時間	■指導形態 ○学習内容	具体的な指導内容 ●支援と指導上の留意点 ☆評価規準 (評価方法)
第1時	<p>■個別指導</p> <p>○ねらった方向にボールを転がす練習を通して、思うようにいなくても、気持ちを切り替えて、活動する力を高める。</p> 	<p>〈めあて〉 「自信をつけよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員とボールを転がし合う。 ・転がす際、両手、片手の両方でやってみる。 ・お互いの距離をだんだん長くしていく。 <p>●ボールを転がす経験をすることで、次時に繋げられるようにする。</p>

	<p>○【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の振り返りをする。 <p>「活動の感想」「今日学んだことを教室でどう生かせそうか」を発表する。</p>	<p>☆思うようにボールを転がすことができなくても気持ちを切り替えて挑戦しようとしている。(観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●生かせそうなことが出なかった場合は、体育のチーム競技や、他者と協力して行う係活動などでも生かせることを伝える。
<p>第2時</p>	<p>■小集団指導</p> <p>○【協力ボーリング】</p> <p>活動の流れを知ることで見通しをもち、安心して活動できるように、ルールの確認をする。</p>  <ol style="list-style-type: none"> ① ボールを転がす役、ボールを回収する役、ピン担当役、得点を記入する役になり一人2回ボールを転がしたらローテーションする。 ② ボールを転がすスタートの線が2本あるので、どちらの線から転がすか自分で選ぶ。 ③ ボールが浮いてしまった場合には、やり直す。 <p>○【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の振り返りをする。 <p>「感想」を書いたり、「今日学んだことを教室でどう生かせそうか」を発表したりする。</p>	<p>〈めあて〉</p> <p>「自分の役割をがんばろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●活動の流れと役の動きが分かるよう教師が見本を見せる。 ●初めに1回ずつ練習としてボールを転がしてみる。 ●ピンがたくさん倒れなくても失敗は成功のもとであることを確認し、怒らないで気持ちを切り替えられるようにする。 <p>☆自分の役割を理解し、積極的に動くことができています。(観察)</p> <p>☆ピンがたくさん倒れなくても気持ちを切り替えて活動することができている。(観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●児童が頑張っていたことや協力しようとしていたところを認めるフィードバックを行い、価値付けする。

(4) 使用教材・板書計画・展開のアレンジ例等



〈板書計画〉

きょうりょくボーリング

めあて

じぶんのやくわりを
がんばろう

学習の流れ

- 1 あいさつ
- 2 めあて
- 3 きょうりょくボーリング
- 4 ふりかえり

	1回目		2回目		3回目	
A児						
B児						
C児						
D児						

4 通常の学級での合理的配慮等（対象児童・生徒が学んだことを活用する場面設定や言葉掛け）

○見通しをもつことで自信をもって活動に参加できることを担任と共有し、うまくいかなかったことがマイナスではなく、失敗は成功のもととなることを普段から確認していくことで、自己肯定感を高められるようにする。

- 周りの状況を正しく理解できない児童の事例
- 状況を正しく理解して、友達とかかわろう

1 単元名・題材名
「ちぎレース」

2 対象児童・生徒

(1) 学校種・学年

小学校・第2学年

(2) 学習上又は生活上の困難

(表出している課題)

- ・他者とのかかわりで、状況を正しく理解したり適切な言葉で伝えたりすることが難しい。
- ・気持ちが高ぶった時に、自分で落ち着くことや行動調整することが難しい。
- ・自己肯定感が低く、苦手なことや失敗しそうだと感じることへの抵抗感が強い。

(3) (2)の背景となる原因(自立活動の6区分27項目による視点)

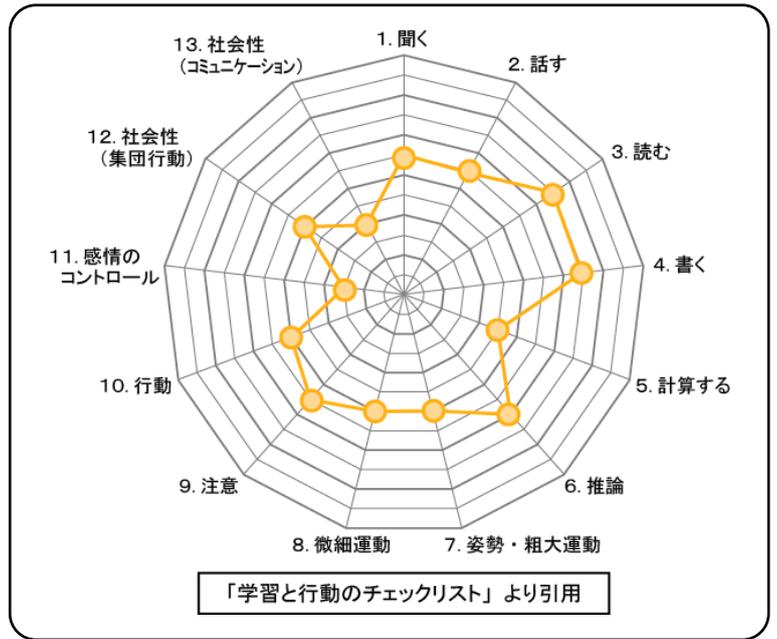
- ・区分 2 心理的な安定 項目 (1) 情緒の安定に関すること。
(2) 状況の理解と変化への対応に関すること。
- ・区分 3 人間関係の形成 項目 (2) 他者の意図や感情の理解に関すること。

(4) 長期目標

- ・周りの状況を正しく理解し、友達とかかわることができる。
- ・気持ちや行動をコントロールする方法を知り、実践することができる。

(5) 短期目標(本単元での指導に関わる短期目標のみ記載)(重点目標)

- ・気持ちに折り合いを付けて、活動に参加することができる。



3 単元・題材及び指導計画等

(1) 単元名・題材名 「ちぎレース」

(2) 単元目標

- ・友達と協力して、活動することができる。

(3) 単元の指導計画・評価計画(全2時のうち本時のみ掲載)

時間	■指導形態 ○学習内容	具体的な指導内容 ●支援と指導上の留意点 ☆評価規準(評価方法)
第1時	<p>■小集団指導</p> <p>○見本を見て、ルールを知る。</p> <p>○新聞紙が途中で切れてしまったり、自分が思っていたようにいかなかったりしたときに、どのような気持ちになるか考える。</p> 	<p><めあて></p> <p>「友達と協力して、活動しよう」</p> <p>●新聞紙が途中で切れてしまい、上手くいかなかったときの気持ちや言葉を考えさせる。また、実際の場面で使えるよう声を掛ける。</p>

<p>○協力して活動するために、大切なことを考える。</p> <p>○個人のためを決める。</p> <p>○【ちぎレース】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで協力しながら、新聞紙を細長くちぎる。 ・時間内に長くちぎれたチームの勝ち。 ・新聞紙が途中で切れてしまったら、やり直し。 <p>①ペアで相談して順番を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで交互に行く。決められた時間になったら交代。 <p>②実際にやってみる。(1回戦)</p> <p>③やってみてどのようにすると上手くできるかペアで話し合う。(5分)</p> <p>④実際にやってみる。(2回戦)</p> <p>【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動を通じてできたことや頑張ったことを発表する。 ・次回頑張りたいこと、教室で生かしたいことも発表する。 	<p>POINT</p> <ul style="list-style-type: none"> ●友達と協力しながら活動するために、大切なことを考え、発表させる。実態に応じて指導者から提示する。 ・気持ちを切り替える。 ・友達の意見や話を聞く。 ・自分の考えを分かりやすく伝える。 ●実際に体験してから、話をさせて互いの意見を出しやすいようにする。 ●気持ちに折り合いをつけようとしている場面では、実態に応じて、児童の気持ちの切り替えが促されるように、受容的な態度を示したり、言葉掛けを行ったりするなどして支援する。 <p>☆上手くいかないことがあっても、気持ちに折り合いをつけようとしている。(観察・発言)</p> <p>☆友達の意見を聞いたり、先生の話の話を聞いたりしながら活動している。(観察)</p> <p>☆相手に分かるように、自分の考えを伝えようとしている。(観察・発言)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●振り返りの場面では、できたことを指導者から価値付ける言葉掛けをする。
---	---

(4) 使用教材・板書計画・展開のアレンジ例等

【ちぎレースの手順】

① ペアで交代し、協力して行う



② 新聞紙を細長くちぎる



③ 新聞紙が途中で切れたら、そこからやり直す



④ 時間になったらちぎった新聞紙の長さを比べる



4 通常の学級での合理的配慮等（対象児童・生徒が学んだことを活用する場面設定や言葉掛け）

- 学習内でできたことを在籍学級担任と共有し、学級内で同様の場面があったときに学習内で有効だった支援を行うようにする。
- 上手くいかないときや、失敗してしまったときに気持ちを切り替える言葉を掛け、前向きに取り組むことができるようにする。

1 単元名・題材名
「相談と活動」

2 対象児童・生徒

(1) 学校種・学年

小学校・第1学年

(2) 学習上又は生活上の困難

(表出している課題)

- ・集中を維持することが苦手。ミスが多い。
- ・視覚からの情報を受けやすく、不注意である。

(3) (2)の背景となる原因

(自立活動の6区分27項目による視点)

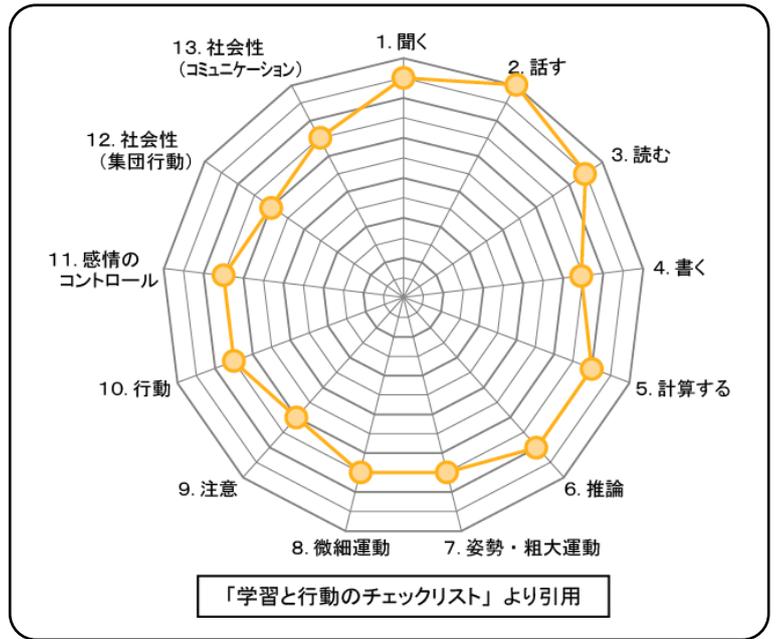
- ・区分 3 人間関係の形成
項目 (3) 自己の理解と行動の調整に関すること。
- ・区分 4 環境の把握
項目 (2) 感覚や認知の特性についての理解と対応に関すること。

(4) 長期目標

- ・友達とのかかわり方を学び、友達と楽しく過ごすことができるようになる。

(5) 短期目標 (本単元での指導に関わる短期目標のみ記載)

- ・意図的に身体を動かしたり、6人程度の同学年集団で役割を務めたりして、自己有用感を高める。



3 単元・題材及び指導計画等

(1) 単元名・題材名 「相談と活動」

(2) 単元目標 (重点目標)

・個々の児童が既にもっている、又はできている力を伸ばし、障害による生活上の困難さを軽減するために、「居場所」と「出番」を意識でき、選択・実行・小さな失敗・改善のスパイラル的な試行錯誤を実践できるようになる。

「居場所」とは、率直な自分の思いを安心して表現できる空間として、指導担当が児童の状態に合わせて寄り添いながら醸成するものである。

「出番」とは、「私がしたいです。できます。」と、主体的に表現できる場面設定であり、主指導者が各児童の状態に応じてコーディネートするものである。

(3) 単元の指導計画・評価計画 (年間)

■指導形態 小集団

時間	○学習内容	具体的な指導内容 ●支援と指導上の留意点 ☆評価規準 (評価方法)
導入	1. 始めの挨拶	(1) 席順・活動内容は板書で指示・予告する。 挨拶の役は立候補(主体性重視)とする。

<p>展開</p>	<p>2. 活動の選択と実行</p> <p>①板書で活動の見通しを示す。(お話(テーマ提示)・活動選択)</p> <p>②相談して活動順番を選択する。(意思表示、折り合い)</p> <p>3. 安心・発信・反応・会話 お話「○○○○」 (個々の発信力に応じた2グループで実施)</p> <p>4. 選択・意思表示・折合い 活動選択 たけのこニョッキ、何でもバスケットドンじゃんけん (着席姿勢・動作・発言は、できるだけ注意・修正しない。)</p>	<p>●主指導者は、小集団活動を主導する。基本的に上級生の意見を尊重し、肯定的な意見を促進するよう強化する。</p> <p>●個別担当は、担当児童の指導主体として、個別指導計画の指導目標を優先して支援・助言する。</p> <p>(2) お話活動は、一人一人の特性や気持ちの揺れを尊重し、貢献的な言動については称賛し強化する。 (実態に応じて話す・聞く意欲を伸ばす。)</p> <p>(3) 意思表示と折り合いをつけながら活動する場面(対話的)を設定し、主体的な活動態度を適時称賛する。</p> <p>(4) 学習内容4については、主指導者が活動概要を示す。ただし、ゲームルールや進行方法等については、児童6人の発言内容を採用できるようにして、自主的対話的な思考と言動を促進する。</p> <p>☆相手の意見や考えを受け入れながら、自分の考えを伝えている。(観察)</p>
<p>終末</p>	<p>5. 来週の見通しと授業の感想、終わりの挨拶 「活動の感想」「今日学んだことを教室でどう生かせそうか」を発表する。</p>	<p>○学習内容の志向を意識させ、次週の見通しをもたせる。</p>

(4) 使用教材・板書計画・展開のアレンジ例等

○お話・インタビュー・会話

子供の発信に対し、教員が率先して肯定的に応じる展開が毎時間保障されていることが重要である。子供の思いや考えに周囲から好意的な反応があるように教員が調整できる環境を用意しておく。主指導者は、その場に望ましいと思われる子供の言動に注目して、強化する反応を返す。指導担当は、担当する子供の心配事を注意深く観察して、解決のための個別最適な方法を推測して提案する。

○相談と活動

子供発信で司会・記録・活動リーダーなどの役割が決まる展開がある。主指導者は、子供が相互に貢献的な言動により思いを伝え合えるように調整する。

- ・素材例 たけのこニョッキ、すしゲーム、リーダーを探せ、何でもバスケット、だるまさんが転んだイタリアン など



4 通常の学級での合理的配慮等(対象児童・生徒が学んだことを活用する場面設定や言葉掛け)

- 日常の出来事へ対応できない時に、カムダウンできる時間と場所が保障されている。
- 一斉授業の中で、クラスアシスタントなどの人的配置により支援者がいる。
- 思いや考えの表現方法(ツール)を選択できる配慮がある。
例示(うなずき・首振り、選択肢カード、小白板)
- 日直・当番活動や係活動などの役割が、本人にとって分かりやすく提示されている。

1 単元名・題材名

「読みの練習」

2 対象児童・生徒

(1) 学校種・学年

小学校・第2学年

(2) 学習上又は生活上の困難

(表出している課題)

- ・文字の読み書きが困難であり、教科書が読めない。
- ・集中力がなく、刺激にすぐ反応し座っていられず、教室を飛び出してしまう。
- ・集団生活のルールが守れず、自分勝手な行動をとる。

(3) (2)の背景となる原因

(自立活動の6区分27項目による視点)

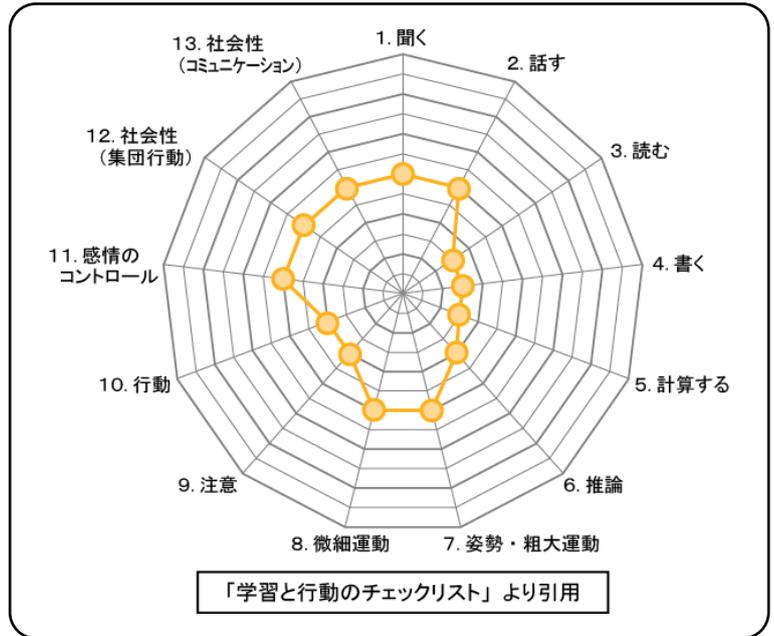
- ・区分 2 心理的な安定 項目 (1) 情緒の安定に関すること。
(3) 障害による学習上または生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること。
- ・区分 3 人間関係の形成 項目 (4) 集団への参加の基礎に関すること。
- ・区分 4 環境の把握 項目 (2) 感覚や認知の特性についての理解と対応に関すること。
(5) 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること。
- ・区分 6 コミュニケーション 項目 (3) 言語の形成と活用に関すること。

(4) 長期目標

- ・平仮名を覚え単語をまとまりとして捉え、文章を流ちょうに読むことができる。
- ・ルールや状況を理解して行動することができる。

(5) 短期目標 (重点目標)

- ・平仮名の言葉(2文字・3文字)を読むことができる。
- ・学校生活のルールを守り、行動に生かすことができる。



3 単元・題材及び指導計画等

(1) 単元名・題材名 「読みの練習」

(2) 単元目標

- ・「読みの練習」の活動を通して、流ちょうに読むことができる。

(3) 単元の指導計画・評価計画（全1時）

過程	■指導形態 ○学習内容	具体的な指導内容 ●支援と指導上の留意点 ☆評価規準（評価方法）
導入	■個別指導 1 挨拶をする。 2 活動の流れを知り、見通しをもつ。 「今日の予定」①～④ 	●姿勢を意識させる。 ●今日の予定をその場で書き、読み上げることで視覚・聴覚の感覚から見通しをもたせる。
展開	■個別指導 3 ①平仮名読みアプリ ②読みを流ちょうにするための教材 ③平仮名单語の読み ④音読 ただしくよもう <ただしくよもう> ① アプリで拗音を読む。 ② 読みを流ちょうにするための教材で正しい言葉を選ぶ。 ③ 無意味な平仮名文字列の中から、意味のある単語を探す。 ④ 教科書を音読する。	●①タブレット端末で拗音や促音、清音を次々と読ませる。 ●②読み間違えたら、すぐに修正を促す。 ●③1分以内にできるだけ無意味語の中から多くの意味のある単語を探し、○で囲ませる。 ●④児童と指導者が1文ずつ交代読みをする。 （あらかじめ、自分の教科書を持参させる。） ●新出漢字の確認や分からない漢字の読み方を教える。 ☆流ちょうに読むことができる。また、間違えても言い直しができる。（観察）
まとめ	4 1時間の全体評価をする。 「活動の感想」「今日学んだことを教室でどう生かせそうか」を発表する。 挨拶をする。	●花丸を付け、できたことを価値付ける。

(4) 使用教材・板書計画・展開のアレンジ例等

<ul style="list-style-type: none"> ○音読指導総合アプリ 清音や拗音など一音一音の平仮名や単語が読めるように繰り返し練習をする。 ○「読めた」「分かった」「できた」読み書きアセスメント 読みの困難さを改善する。 ○読みにつまづきのある子供のためのことばのカード 視覚化や動作化により、単語や文章の読みを流ちょうに行う練習をする。
--

4 通常の学級での合理的配慮等（対象児童・生徒が学んだことを活用する場面設定や言葉掛け）

<ul style="list-style-type: none"> ○漢字にはルビを振り、定着するまで清音の読みの指導を行う。 ○特別支援教室で学んできた単語を、学級での授業の際に活用する場を設け、授業に参加し、「できた」「わかった」の経験をさせることで自己肯定感を高める。 ○特別支援教室で使っている言葉と同じ言葉を学級でも使い指示を出す。 ○特別支援教室のルールと学級のルールを同じにする。
--

1 単元名・題材名

「謎の遺跡からの脱出」

2 対象児童・生徒

(1) 学校種・学年

小学校・第5学年

(2) 学習上又は生活上の困難

(表出している課題)

- ・思い通りにいかないときやトラブルがあると、場にそぐわない言動をとり、気持ちを上手く伝えられない。
- ・読み書きに苦手意識があり、授業に前向きに取り組めない。
- ・注意集中が苦手で、話題を維持したり他者と共同で作業したりすることが難しい。

(3) (2)の背景となる原因

(自立活動の6区分27項目による視点)

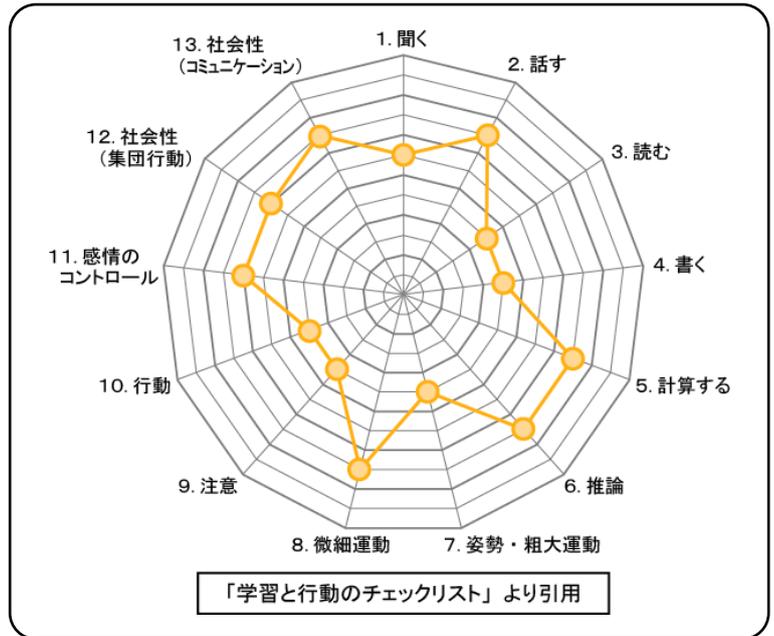
- ・区分 2 心理的な安定 項目 (1) 情緒の安定に関すること。
(3) 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること。
- ・区分 3 人間関係の形成 項目 (1) 他者とのかかわりの基礎に関すること。
- ・区分 6 コミュニケーション 項目 (5) 状況に応じたコミュニケーションに関すること。

(4) 長期目標

- ・達成感を味わいながら、自信をもてることを増やし、苦手なことにも取り組むことができる。

(5) 短期目標 (本単元での指導に関わる短期目標のみ記載)

- ・相手の思いを尊重したり、自分の思いを伝えたりすることで他者と心地よいやり取りを積むことができる。



3 単元・題材及び指導計画等

(1) 単元名・題材名 「謎の遺跡からの脱出」

(2) 単元目標 (重点目標)

- ・順番やルール、話合いのルールを遵守しながら活動する。
- ・周囲の状況を確認しながら話合いを進める。
- ・役割を分担しながら活動する。

(3) 単元の指導計画・評価計画（全3時）

時間	■指導形態 ○学習内容	具体的な指導内容 ●支援と指導上の留意点 ☆評価規準（評価方法）
第1時	<p>■小集団指導「森の仲間たちの家」</p> <p>○自分の考えを伝えたり、他者の意見を確認したりしながら意見をまとめる。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・ ロールプレイでルールを確認する。 ・ 一度練習し、やり方の確認をする。 ・ 順番に読み札に書かれた文章を読み、どの動物がどの家に住んでいるか、相談しながら決めていく。 ・ 答えの確認をする。 ・ 活動を振り返る。 ・ 「活動の感想」「今日学んだことを教室でどう生かせそうか」を発表する。 	<p>めあて 〈大事な情報に注目して完成させよう〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●活動の流れを掲示する。 ●めあてにせまるロールプレイを行う。 ●練習用の簡易バージョンを用意する。 ●児童の主体性を大事にするが、順番やルールの遵守が難しい時には、適宜介入する。 ●一度目で完成しない場合は、ルールを緩和して再度話し合いをする。 <p>☆話し合いながら協力して作業を完成させることができている。（発言・観察）</p> <p>☆大事なことに注意を向け、必要なら許可を得るなど相談に必要なスキルを使うことができる。（発言・観察）</p>
第2時	<p>■小集団指導「動物マンション」</p> <p>○お楽しみ会のゲームとして、ペアになり他チームと協力しながら答えを考える。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・ ルールを確認する。 ・ 順番に読み札に書かれた文章を読み、どの動物がどの部屋に住んでいるか、相談しながら決めていく。 ・ 答えの確認をする。 ・ 活動を振り返る。 ・ 「活動の感想」「今日学んだことを教室でどう生かせそうか」を発表する。 	<p>めあて 〈みんなと協力して完成させよう〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●経験のある高学年児童と低学年児童でペアを組み、高学年がやり方を伝える。 ●話し方のスキルを掲示する。 ●自分一人で進めず、周囲に確認したりペアで役割を分けたりして取り組む。 <p>☆協力して作業を完成させることができている。（発言・観察）</p>
第3時	<p>■小集団指導「謎の遺跡からの脱出」</p> <p>○自分の考えを伝えたり、他者の意見を確認したりしながら意見をまとめる。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・ ルールを確認する。 ・ 読み札に書かれた文章を読み、どこから遺跡に入り、どのように進んで宝にたどり着き、脱出するかメモをしたり、相談したりしながら決めていく。 ・ 正解の確認をする。 ・ 活動を振り返る。 ・ 「活動の感想」「今日学んだことを教室でどう生かせそうか」を発表する。 	<p>めあて 〈みんなと相談して解決しよう〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●前回までのスキルを掲示し確認する。 ●児童の興味をひく導入や教材などを用意する。 ●記入や書き直しがしやすいように、用紙をラミネートしホワイトボード用のペンを使用する。 <p>☆協力して作業を完成させることができている。（発言・観察）</p> <p>☆相手の思いを尊重するなど、話し合いでの大切な行動や態度に気付くことができている。（ワークシート）</p>

〈展開のアレンジ例〉

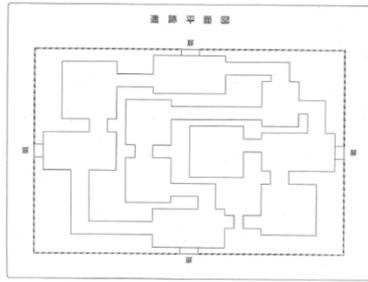
- ①最後まで発言し終えて完成しない場合は、伏せて置いたカードを見て、関係する情報に関して発言しても良いこととする。
- ②さらに完成しない場合は、カードを見せ合ってもよいこととする。
- ③学年や児童の実態に応じて、ランダムに読み札を読むグループや、持ち札を確認させて関連する情報が書かれた読み札を読み進めるグループなど、取り組み方に幅をもたせる。

(4) 使用教材・板書計画 等

〈使用教材〉

第3時

・「謎の遺跡からの脱出」白地図、読み札（冒険を想起させるテーマ、前回までと少し趣向を変えることで、更なる意欲を喚起する。）



・「ふりかえりシート」（本日の学びを共有するために用い、振り返りの観点を身に付けさせる。）

1. サイカの扉を開けると、光の扉がある。	4. ビンゼンの扉を開けると、神獣の扉がある。
2. キヤスコの扉を開けると、黄金の扉がある。	5. 銀龍から迷宮へ移るには、2分かかる。
3. アツカの扉を開けると神の扉がある。	6. 一層開けば扉は、迷宮奥にしまっている。
7. 室の扉には、サイカの扉を開ける鍵がある。	14. 龍の扉は、黄金の扉、神の扉、紫の扉に通じている。
8. 光の扉には、アツカの扉を開ける鍵がある。	15. 光の扉は、銀りの扉と神獣の扉に通じている。
9. 黄金の扉には、キヤスコの扉を開ける鍵がある。	16. 赤なたたねの扉は、明日の扉を開ける鍵になることができる。
10. 神獣の扉は、秘の扉でいて、一度入ったおとられぬ扉。	17. ビンゼンの扉には鍵が落ちる。

ふりかえりシート

月 日 年 名前

1. 次にあてはまる人は誰ですか。
※自分があてはまる時は、自分の名前を書く。
名前があてはまらなければ、書かなくてもいい。

質問	名前
1 自分を持っている情報を分かりやすく伝えたい人	
2 全員が発言できるように気を配った人	
3 時間を短にした人	
4 みんなが思いつかなかったいい意見を言った人	
5 話を中心になって進めた人	
6 まとめをした人	

2. 今後、こういうことをするときどうしたらよいと思いませんか。

3. 「謎の遺跡からの脱出」をして、思ったことを書きましょう。

〈板書計画〉

本時 謎の遺跡からの脱出

11. 女王の間には、宝の箱がある。

12. 眠りの間に入ると、3分間眠ってしまう。

めあて 大事な情報に注目し、協力して完成させよう。

学習の流れ

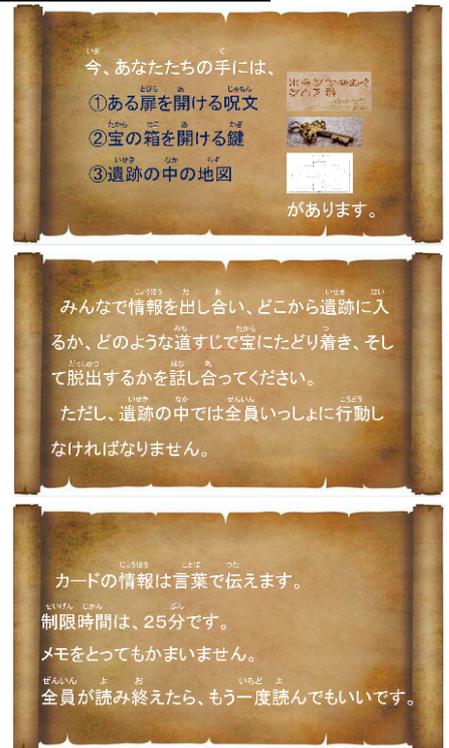
- ①説明
- ②質問タイム
- ③活動
- ④振り返り

話を始める前の言葉

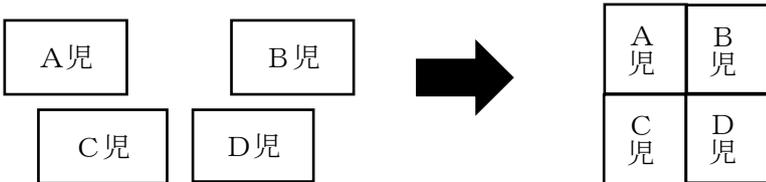
「言います」
「いくよ」
「聞いてね」

完成させるには

- ①周りをみる (できることはないか)
- ②発言する (周りの反応をみる)
- ③みんなで確認する



〈座席配置〉



参考：『協力すれば何かが変わる 続・学校グループワーク・トレーニング』坂野公信 監修（図書文化社）
『改訂 学校グループワーク・トレーニング』坂野公信 監修（図書文化社）

4 通常の学級での合理的配慮等（対象児童・生徒が学んだことを活用する場面設定や言葉掛け）

- 児童の良さについて担任や専科教員と共有し、意図的に活躍できる場面や活動を設定することで自己肯定感を高めたり、自己有用感を育てたりする。
- 児童の得意な方法で取り組めるように担任や専科教員に提案し、本人が取り組み方を選択できるようにする。
- 本人の興味をひくことや関心のある物を活動に入れ込み、主体的な活動参加を促すように担任、専科教員等に提案する。また、活動の様子やその後の様子について情報を共有していく。

1 単元名・題材名

「自分に合った方法で読んだり、書いたりしよう」

2 対象児童・生徒

(1) 学校種・学年

中学校・第2学年

(2) 学習上又は生活上の困難

(表出している課題)

- ・読み書きに苦手があり、学習全般に対して意欲を失っている。
- ・自分で学習に取り組むことが難しい。

(3) (2)の背景となる原因

(自立活動の6区分27項目による視点)

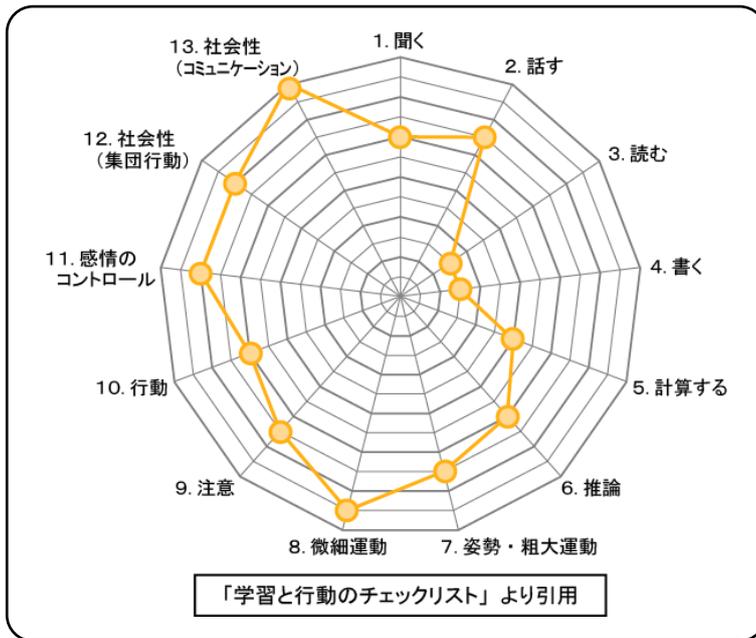
- ・区分 1 健康の保持 項目(4) 障害の特性の理解と生活環境の調整に関すること。
- ・区分 4 環境の把握 項目(3) 感覚の補助及び代行手段の活用に関すること。
- ・区分 2 心理的な安定 項目(3) 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること。

(4) 長期目標

- ・自分にあった学習方法を知り、意欲的に学習に取り組むことができる。

(5) 短期目標(本単元での指導に関わる短期目標のみ記載)

- ・自分が読み書きにどんな困難があるかを、認知することができる。
- ・読みと書きの困難を軽減する方法を実践できる。



3 単元・題材及び指導計画等

(1) 単元名・題材名 「自分に合った方法で読んだり、書いたりしよう」

(2) 単元目標

- ・自分が読み書きにどんな困難があるかを、認知することができる。
- ・読みと書きの困難を軽減する方法を知り、実践できる。

(3) 本時のねらい(重点のねらい)

- ・自分に合った漢字の覚え方を工夫し、漢字を覚えることができる。
- ・自分に合ったワークシートの取り組み方を工夫し、操作することができる。

(4) 本時の指導計画・評価計画

時間	○学習内容 ・学習活動	・配慮事項
		●指導上の留意点 ☆評価規準（評価方法）
導入	○チェックイン ・本時の学習内容と目標を確認する。	・リラックスして取り組めるような雰囲気づくりを大切にする。 ●最近の様子や今日の気持ちや体調を共有し、今日の予定を確認する。
展開	○教科で使用するワークシートをタブレット端末に取り込む。 ○覚え方を工夫して、漢字を覚える。  ○教科のワークシート画像をタブレット端末に取り込んで、テキストを入力する練習をする。 ○好きや得意を伸ばす探究活動	●今までやってきたことや「もっとこうできたらいい」ということの話の聞きながら進める。 ●「これなら自分でできた」と思える支援をする。 ☆自分で漢字の覚え方を工夫することができる。（観察） ・タブレット端末の利用の汎化には多くの練習時間が必要であるため、その時間を継続して確保していく。 ・安心してできる雰囲気づくりに努める。
まとめ	○振り返りと次週の予定の確認 「活動の感想」「今日学んだことを教室でどう生かせそうか」を発表する。	

(5) 使用教材・板書計画・展開のアレンジ例等

<p>○デジタルの活用</p> <p>(1) タブレット端末</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクセシビリティ設定画面（タブレット端末をカスタマイズする） ・振り仮名アプリ（教材プリントを撮影した画像に振り仮名を挿入する） <p>(2) 電子黒板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の覚え方の工夫（生徒が、自分に合った覚え方（ゴロ合わせ等）を見つけ、スクリーンやホワイトボード等に大きく書いて定着を図る） <p>例：闘…豆を目の寸前まで投げつけて闘う 需要…雨に耐える西の女</p>

4 通常の学級での合理的配慮等（対象児童・生徒が学んだことを活用する場面設定や言葉掛け）

<p>○多くの人に読みやすいフォント・ポイント・行間で、配布物や定期考査を作成する。</p> <p>○本人・保護者からの援助要請を受け、面談・確認の後に校内委員会で検討し、合理的配慮についての回答を行う。</p> <p>○デージー教科書、読み上げ機能を始めとする、読みを補助する方法について授業中利用を許可する。</p> <p>○定期考査での読みの補助（読み上げ、読み上げ機能を使う等）を行う。</p> <p>○定期考査での時間延長を認める。</p> <p>○ワークシートを、タブレット端末に配布し、提出もデータで行う。</p>
--

1 単元名・題材名

「コミュニケーションスキルを高めよう」

2 対象児童・生徒

(1) 学校種・学年

中学校・第3学年

(2) 学習上又は生活上の困難

(表出している課題)

- ・人に伝えようとする意識が少なく、あまり関心がない。
- ・困ったときに、援助要請を出すことができない。
- ・期限内に課題を提出することができない。

(3) (2)の背景となる原因

(自立活動の6区分27項目による視点)

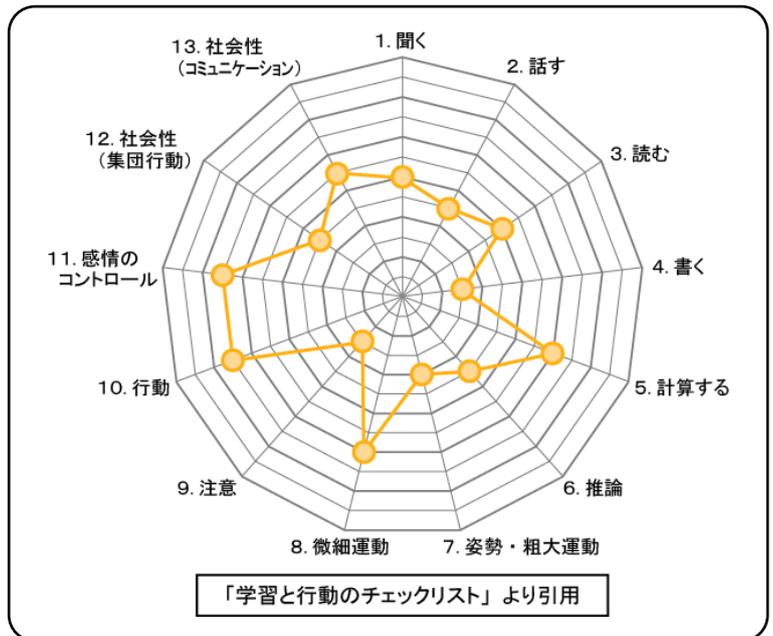
- ・区分 6 コミュニケーション
項目 (1) コミュニケーションの基礎的能力に関すること。
- ・区分 3 人間関係の形成
項目 (1) 他者とのかかわりの基礎に関すること。

(4) 長期目標

- ・人とかかわることの楽しさや心地よさを知り、適切なコミュニケーションスキルを学ぶ。
- ・困っていることに気づき、改善・克服しようとする意欲を高める。

(5) 短期目標 (本単元での指導に関わる短期目標のみ記載)

- ・コミュニケーションスキルを意識しながら、自分の考えや気持ちをスムーズに表現する。



3 単元・題材及び指導計画等

(1) 単元名・題材名 「コミュニケーションスキルを高めよう」

(2) 単元目標 (重点目標)

- ・コミュニケーションスキルのトレーニングに集中して取り組む。
- ・上手な話し方、聞き方のコツを理解する。
- ・対話ゲームを通じて、人の話を上手に聞きながら、自分の考えや気持ちを伝えることができる。

(3) 単元の指導計画・評価計画 (本時のみ掲載)

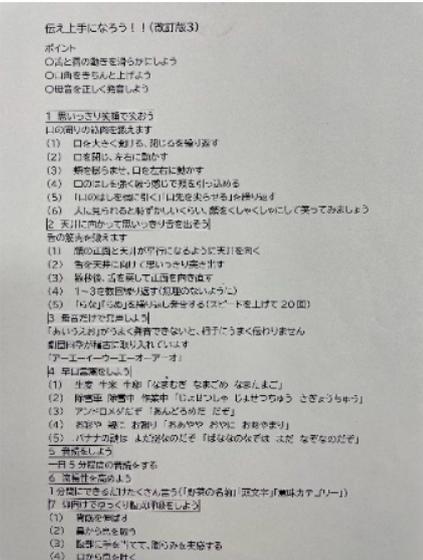
時間	■指導形態 ○学習内容	具体的な指導内容 ●支援と指導上の留意点 ☆評価規準 (評価方法)
第3時	<p>■個別指導</p> <p>○「コミュニケーショントレーニング」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トレーニングメニューの中から、2つ選ぶ。 ・タイマーをセットし、トレーニングに取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ●支援と指導上の留意点 ☆評価規準 (評価方法) ●トレーニングメニューの内容を確認し、必要に応じてモデルを提示する。 ●よい点をほめる。 ☆自分で考えてメニューを選んでいる。(発表) ☆コミュニケーションの技能を身に付けている。(観察)

	<p>■小集団指導</p> <p>○「対話ゲーム」</p> <ul style="list-style-type: none"> カードに書かれている内容について、人の話を聞きながら、自分の考えを伝える。 「上手な話し方」「上手な聞き方」のチェックリストで振り返る。 「活動の感想」「今日学んだことを教室でどう生かせそうか」を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ルールを確認する。 ●「上手な話し方」「上手な聞き方」のチェックリストを用意する。 <p>☆上手な伝え方を意識しながら取り組んでいる。(発表)</p> <p>☆上手な聞き方を意識しながら取り組んでいる。(発表)</p>
--	---	---

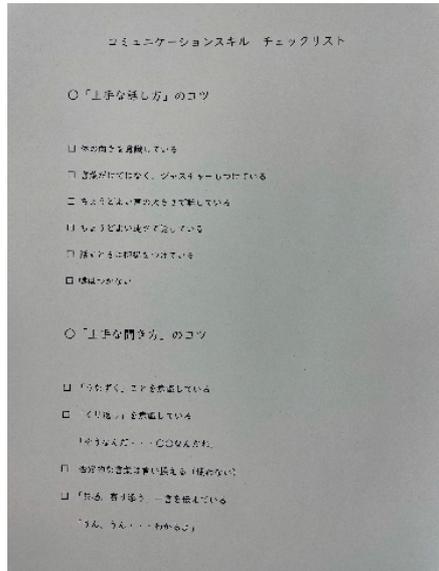
(4) 使用教材・板書計画・展開のアレンジ例等

<使用教材>

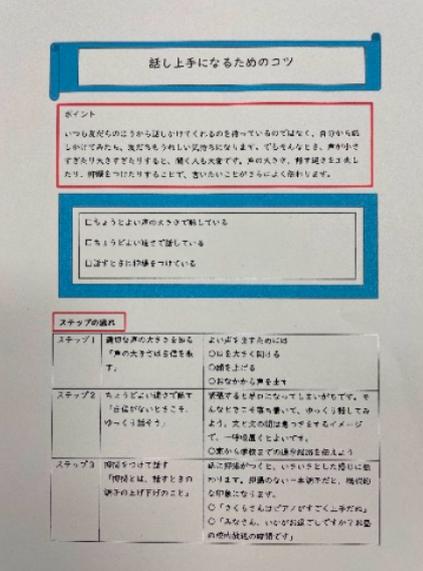
・コミュニケーショントレーニング



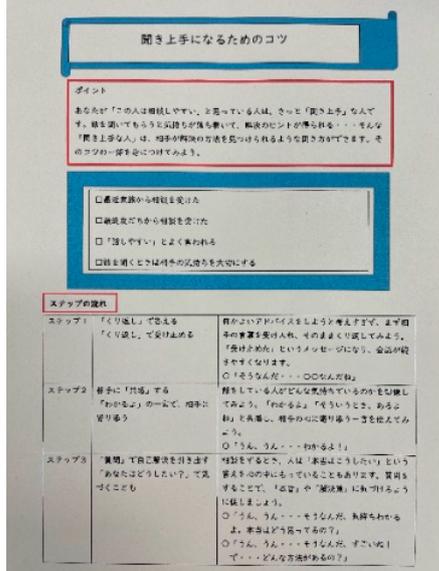
・チェックリスト



・話し上手になるためのコツ



・聞き上手になるためのコツ



4 通常の学級での合理的配慮等（対象児童・生徒が学んだことを活用する場面設定や言葉掛け）

- 連絡帳（関係機関での取組の様子）や授業の冒頭に学校生活の振り返りを行うことで、生徒に必要な個別の言葉掛け（ストレス場面、課題提出のためのリマインドなど）を担任中心に行っている。
- できたことや友達との良いやり取り場面が見られた時には、ほめて行動を強化することを共有している。

● 一斉指導で指示を理解できない生徒の事例
○ 自分の得意なことや不得意なことを知り、改善方法を考えよう

1 単元名・題材名

「自己理解」

2 対象児童・生徒

(1) 学校種・学年

高等学校・第1学年

(2) 学習上又は生活上の困難

(表出している課題)

- ・一斉指導での指示理解が難しく、自己判断で行動し、適切な行動ができないことがある。
 - ・制限時間内での活動が困難。
- 自ら支援を求めることができない。

(3) (2)の背景となる原因

(自立活動の6区分27項目による視点)

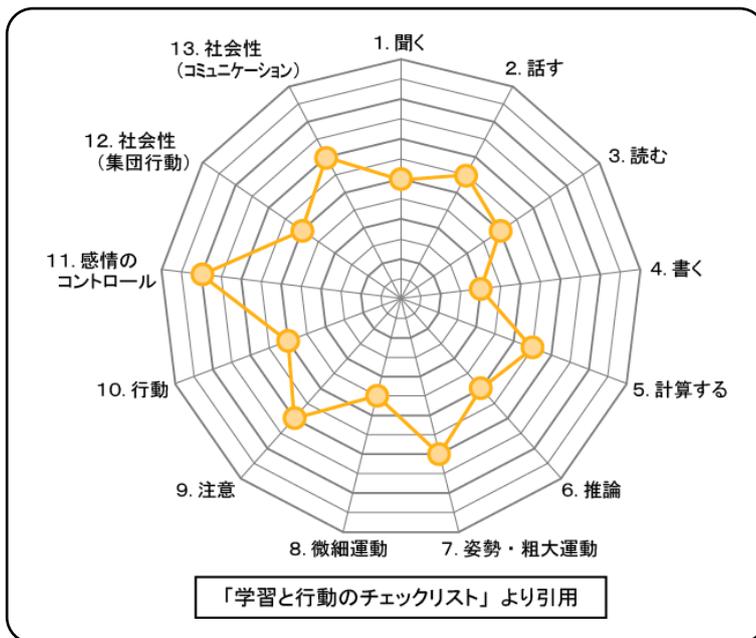
- ・区分 3 人間関係の形成 項目 (1) 他者とのかかわりの基礎に関すること。
- ・区分 6 コミュニケーション 項目 (1) コミュニケーションの基礎的能力に関わること。

(4) 長期目標

- ・自分を知り、必要な支援を自ら求められるようになる。
- ・正しい判断をするために、スケジュール管理や適切な確認作業を行えるようになる。

(5) 短期目標 (本単元での指導に関わる短期目標のみ記載) (重点目標)

- ・自分のできること、できないことを客観的に知る。
- ・自分の特性や、必要な支援を伝える方法を知る。



「学習と行動のチェックリスト」より引用

3 単元・題材及び指導計画等

(1) 単元名・題材名 「自分を知る・伝える」

(2) 単元目標

- ・自分の得意なこと、不得意なことを知り、改善方法を考える。

(3) 単元の指導計画・評価計画 (全2時)

時間	■指導形態 ○学習内容	具体的な指導内容 ●支援と指導上の留意点 ☆評価規準 (評価方法)
第1時	<p>■ 個別指導</p> <p>○<u>チェックシートの活用</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の課題に気づく。 ・読み書きに要する時間を把握する。 <p>○最初の5分 (導入) …本時の流れ確認・日課帳記入</p> <p>○最後の10分 (まとめ) …振り返り・自己評価・次回予告 ・日課帳記入・清掃</p>	<p>●チェックシートに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェックシートの意図を伝える。 ・わからないところは質問してよいことを伝える。 ・本人の時間概念を把握するため、最初に課題にどれくらい時間が必要かを質問する。 ・読む時間を把握するため、タイマーを設定する。 <p>☆決められた時間を意識し、適切に問いに答えられている。(観察)</p>

<p>第2時</p>	<p>■ 個別指導</p> <p>○チェックシートの振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の強みを知る。 ・自己評価の低いところを知り、指導者と共に改善方法を考える。 ・課題への改善点を確認する。 <p>○最初の5分（導入）</p> <p>…本時の流れ確認・日課帳記入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体調管理を行い、その理由を具体的に考える。 ・今日の目標を考える。 <p>○最後の10分（まとめ）</p> <p>…振り返り・自己評価・次回予告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日課帳記入・清掃 ・今回の学習で学んだことの内容・感想を記入する。 ・相談したいこと・報告したいことを記入する。 	<p>POINT</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●チェックシートの振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・チェックシートを自己評価に基づき確認する。 ●目標にそって学んだことを振り返れるように声掛けをする。 ●考えが表出できない場合は、生徒が活動の中で、できていた点、できるようになったことを可視化できるように声掛けをする。 ・学習において、心配なこと、不安なことを確認し、次時に向けて安心した学習環境を整えるようにする。 ●T1が質問をし、T2は生徒がわからないこと、不安なことに対し、支援ができるように役割を分担し、安心して学習できる環境を整える。 ・自己評価の高かったものについて、指導者と共に振り返り、価値付けをする。 ・点数の低いものについても、自己評価をし、具体的な場面を想起しながら発表させる。 ・他の場面でも汎化できるように、難しいと思うことを確認し、改善方法を教師と共に考える。 ・必要に応じて不得意なことに対するアドバイスや指導者の経験談を交える。 ●話しやすい雰囲気を作り、リラックスしながら、思いを言語化できるようにする。 <p>☆不得意なことも言葉で表現し、積極的に改善する方法を考えている。（観察・表現）</p>
------------	--	---

4 通常の学級での合理的配慮等（対象児童・生徒が学んだことを活用する場面設定や言葉掛け）

<p>○理解することに一定の時間が必要なため、集団活動での一斉指示については、定期的に個別に確認をする。</p> <p>○一斉活動では、行動に時間がかかるため、時間延長または課題量の調整など実施を把握した上で、本人との相談により配慮を行う。</p>
--

1 単元名・題材名

「自己理解・自己受容プログラム」

2 対象児童・生徒

(1) 学校種・学年

高等学校・第2学年

(2) 学習上又は生活上の困難

(表出している課題)

- ・同時にたくさんの動作をすることは苦手である。
- ・課題や持ち物を口頭で伝えたり授業中のみ黒板にメモを残したりするだけだと、転写や記憶をすることが難しく、忘れ物や提出物の遅れなどがある。

- ・自分の思っていることや考えを伝えることが苦手で、困ったときに声をかけにくい。

(3) (2)の背景となる原因

(自立活動の6区分27項目による視点)

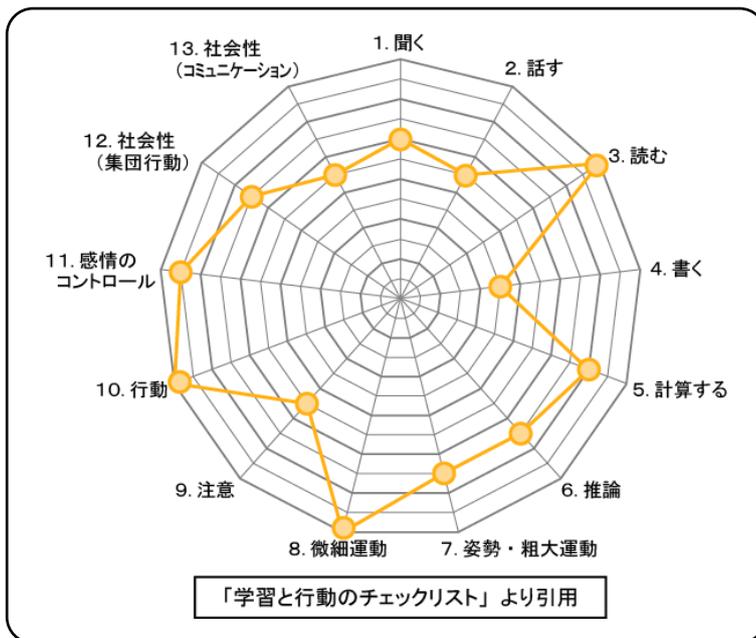
- ・区分 3 人間関係の形成 項目 (2) 他者の意図や感情の理解に関すること。
- ・区分 6 コミュニケーション 項目 (1) コミュニケーションの基礎的能力に関すること。
(2) 言語の受容と表出に関すること。

(4) 長期目標

- ・家族以外の人とのコミュニケーションスキルを身に付ける。
- ・意見のまとめ方やスケジュール管理を身に付ける。
- ・困ったときに周りの人とコミュニケーションをとれるスキルを身に付ける。

(5) 短期目標 (本単元での指導に関わる短期目標のみ記載)

- ・相手とのコミュニケーションを図ることができる。



3 単元・題材及び指導計画等

(1) 単元名・題材名 「自己理解・自己受容プログラム」

(2) 単元目標 (重点目標)

- ・自分について「強いこと」「弱いこと」「人に助けてもらいたいこと」を考え、自分の取扱説明書を作成することで、将来の自分に肯定的な展望を持てるようにする。
- ・自分についてポジティブな姿勢で自分の「弱いところ」を受け入れられるようになる。

(3) 単元の指導計画・評価計画（全1時）

時間	■指導形態 ○学習内容	具体的な指導内容 ●支援と指導上の留意点 ☆評価規準
第1時	<p>■ 1 : 1 個別指導</p> <p>○ 自分の特徴や特性を理解し、見える化する必要性について考える。</p>  <p>○ 今後への糧、準備として、自分の取扱説明書を作ることは大事なことを理解し、自発的に取り組む。</p> <p>○ 学校生活への適応感を高めるため、本活動を通じて、自己理解・特性理解を深めていくことを理解して取り組む。</p> <p>○ 「活動の感想」「今日学んだことを教室でどう生かせそうか」を発表する。</p>	<p>○ ワークシートに記されている設問を一通り確認する。</p> <p>○ ワークシートの設問に順次答える。</p> <p>○ 万が一答え難い、分からない問題等がある場合は、深く考えず、止まらずに次へ進み答える。</p> <p>○ 一通りワークシートが終わり、次は未記入箇所を担当Tと振り返り、考え、当てはまる内容を言語化する。</p> <p>● PDCAサイクルに基づく評価を行う。本生徒の実態に応じ、学習中あるいは学習後に指導者からの評価を行い、自己評価も取り入れる。</p> <p>☆ 自分の得意なことや不得意なことを振り返りながら、ワークシートに取り組んでいる。(観察・ワークシート)</p>

(4) 使用教材・板書計画・展開のアレンジ例等

「自己分析シート」ワークシート(一部抜粋)

- ・ 自分の取扱説明書の必要性について考える。
- ・ 自分の「強いこと」がわかるとどんなメリットがあるのだろうか。
- 自分の好きな活動は _____ です。
- 自分の好きな教科は _____ です。
- ・ 自分の「弱いこと」がわかるとどんなメリットがあるのだろうか。
- 自分の苦手な活動は _____ です。
- 自分の苦手な教科は _____ です。
- ・ 自分に必要な支援がわかるとどんなメリットがあるのだろうか。
- 〈学習に関して〉
- 〈生活指導に関して〉
- ・ 誰に助けを求めたらよいか。
- 〈学習に関して〉
- 〈日常生活に関して〉
- 〈友達関係など〉
- 〈進路について〉

4 通常の学級での合理的配慮等（対象児童・生徒が学んだことを活用する場面設定や言葉掛け）

- ・ 通級での授業内容や情報を毎週担任の先生にも共有し、クラス内での様子などの情報共有を行っている。
- ・ 課題の管理が苦手なため、課題が出ていない場合は教科担当から担任の先生に伝え、保護者を通して課題の提出について連絡する。特に自分の意見を表現する課題が苦手なため、寄り添った指導等を実施している。

● 衝動的な行動をしてしまう生徒の事例

○ お互いの意図を理解し合い、適切ななかわりができるようになる

1 単元名・題材名

「お互いにお話をしよう」

2 対象生徒

(1) 学校種・学年

高等学校・第3学年

(2) 学习上又は生活上の困難

(表出している課題)

- ・友達に不信感がある態度。
- ・衝動的な行動が抑えられない。

(3) (4)の背景となる原因

(自立活動の6区分27項目による視点)

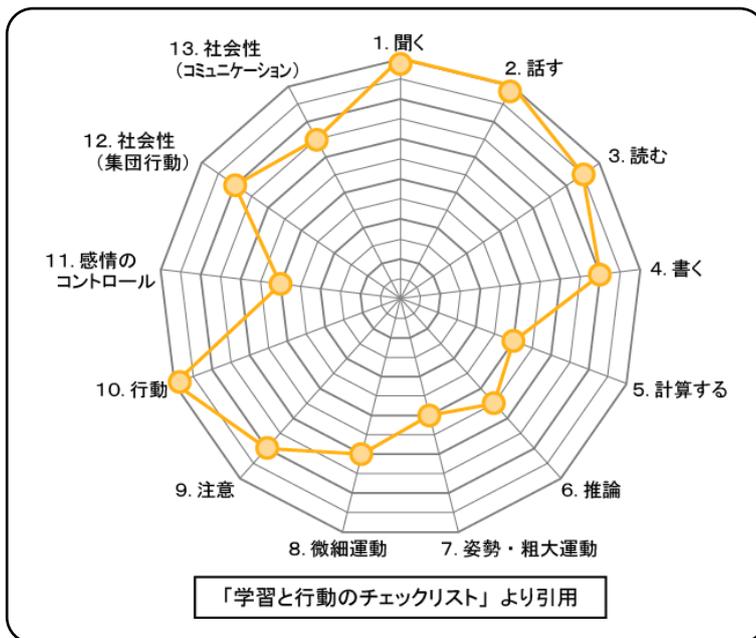
- ・区分 6 コミュニケーション
項目 (1) コミュニケーションの基礎的能力に関すること。
- ・区分 3 人間関係の形成
項目 (3) 自己の理解と行動の調整に関すること。

(4) 長期目標

- ・他者とコミュニケーションを取ることに価値を見出し、良好な人間関係を築くことができる。

(5) 短期目標 (本単元での指導に関わる短期目標のみ記載)

- ・他者の意図や感情を理解している。
- ・自分の特徴に適した行動調整の方法を理解している。
- ・コミュニケーションの手法を理解し、実生活の場面で活用できる。



3 単元・題材及び指導計画等

(1) 単元名・題材名 「お互いにお話をしよう」

(2) 単元目標 (重点目標)

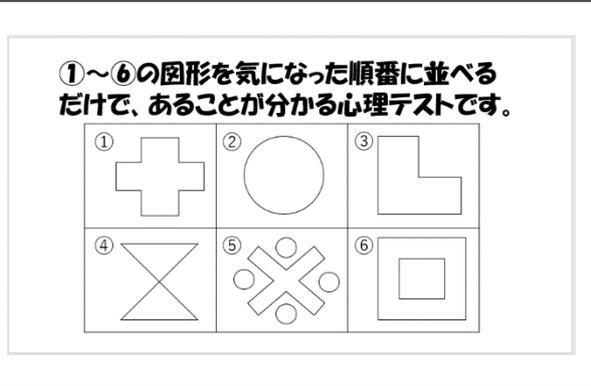
- ・集団の中での活動を客観的に分析し、次の集団生活での目標を定める。

(3) 単元の指導計画・評価計画 (全3時)

時間	■指導形態 ○学習内容	具体的な指導内容
		●支援と指導上の留意点 ☆評価規準 (評価方法)
第1時	<p>■個別指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1学期の振り返りをする。 ○夏休みの活動の自己評価をする。 ○夏休みに行ったことについて5W1Hを用いて、他人に説明をする。 	<p>〈めあて〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分を客観的に振り返り、次の目標を見つけよう。 <p>〈指導の手順〉</p> <ol style="list-style-type: none"> ①夏休みに行ったことをなるべく細かく伝えてもらう。 ②場所・場面を想起できるようにデジタルも活用する。 <p>●具体的に思い出せない場合は、カレンダーや携帯の画像を見ながら、思い出させることから始める。</p>

	<p>○上記のことを聞いてどう思ったかについて他者の意見を聞き、さらにそれを聞いてどう感じたかを他者に伝える。</p> <p>○「活動の感想」「今日学んだことを教室でどう生かせそうか」を発表する。</p>	<p>☆具体的に振り返り、次時の自立活動や学級での行動に目を向けている。(観察・ワークシート)</p>
<p>第2時</p>	<p>■個別指導</p> <p>○適切なかわりを意識して、他人に自分のことや考えを説明する。</p> <p>○相手の話を聞き、自分の感想を伝える。</p> <p>○「活動の感想」「今日学んだことを教室でどう生かせそうか」を発表する。</p>	<p>〈めあて〉 お互いの意図を理解し合い、適切な関わりができるようになる。</p> <p>〈指導の手順〉 ○テーマに基づいて指導者と生徒で互いに話し、コメントを伝え合う。 ①「最近ハマっていること」「今年したいこと」を話す。 ②六つの図形を気になった順に並べ、その理由を伝える。 ③図形に絵を付け足し、その説明をする。 ☆自分の考えを伝えられ、人の考え方も受容できる。(観察)</p>
<p>第3時</p>	<p>■小集団指導</p> <p>○トークテーマ「命拾い」について手順を基に伝え合う。</p> <p>○「活動の感想」「今日学んだことを教室でどう生かせそうか」を発表する。</p>	<p>〈めあて〉 過去の経験から、他者と関わることで自分が成長できた経験を共有しよう。</p> <p>〈指導の手順〉 ①まず、挙手制で思いついた人から話をする。 ②それに対して、感想を言い合う。 ③それを全員発表するまで繰り返す。 ●思い出したくないものを無理に思い出させない。 ☆友達の考えも受け入れながら、自分の考えを述べている。(観察)</p>

(4) 使用教材・板書計画・展開のアレンジ例等

<p>第1時において使用</p> 	<p>第2時において使用</p> 
--	---

4 通常の学級での合理的配慮等（対象児童・生徒が学んだことを活用する場面設定や言葉掛け）

- ・文化祭などの行事に向けての意見交換の際には、どのように意見を言えばよいのかの項目を視覚化し、それを見ながらクラスの前で発言できるようにする。
- ・クラス通信やMicrosoft Teamsでの共有など、他者の発言の良いところに気付くようなきっかけづくりを教師主導で行っていく。

「特別支援教室及び通級による指導」指導の充実のためのガイドブック
～実態把握に基づく自立活動の指導改善～（別冊）自立活動指導事例集

令和6年3月 発行

編集・発行 東京都教職員研修センター研修部教育開発課
所在地 〒113-0033 東京都文京区本郷一丁目3番3号
電話 03(5802)0319